

報告

第6回関東支部大会報告

長尾 素子^A

昨年9月に開設された東京都英語村 TOKYO GLOBAL GATEWAY (以下、TGG と表記する) を会場として、第6回関東支部大会が6月9日(日)に開催された。関東支部総会に続いて、大会委員長の齋藤裕紀恵氏の進行のもと、グローバル人材育成教育学会 関東支部長・加藤俊一氏、株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY 代表取締役社長 CEO・織田信雄氏、グローバル人材育成教育学会会長・勝又美智雄氏が挨拶を行い、開会となった。

基調講演では、株式会社 TOKYO GLOBAL GATEWAY 取締役統括本部長の谷口正一郎氏が「TGGの目指すグローバル人材育成教育」と題して、TGGが設立された経緯と意義が紹介された。また、これまでの利用状況と効果についても報告がなされ、今後の展望が語られた。次に、拓殖大学商学部長中村竜哉氏が「大学教育における TGG 活用の試み」と題し、大学では初めて TGG と連携し、新入生オリエンテーションの1日を TGG で行った経緯とその成果を紹介した。初年次教育の一環として、TGG のプログラムを活用することの意義が語られ、今後4年間の大学生活における効果測定が課題であることが示された。二人

の講演からは、TGG に来場した小中高生および大学生の共通項として、プログラムに参加した満足度が高いこと、今後の英語学習への刺激になったことが明らかになった。

続いて、出展企業によるプレゼンテーションの後、TGG の内覧およびデモ研修が行われた。



写真：イングリッシュスピーカーによるマーケティングのデモ研修

デモ研修は、実際に来場者が体験するプログラムであり、解説を含めた短縮版が紹介された。今回は、多数あるうちの3つのプログラム、「マーケティング」、「SDGs17」、「地球の未来と環境」が3人のイングリッシュスピーカーによって披露された。英語による質疑

A: 拓殖大学商学部

応答もあり、30分間の短縮版とはいえ、参加者にとっては、TGG オリジナル体験プログラムのイメージと理解が深まる時間となった。

デモ研修の後、一般発表および教育連携企画が4会場で行われた。一般発表では、大会テーマにふさわしい「グローバル・マインドの育成」にちなんだ9テーマの報告があった。同時進行の教育連携企画は、高校生と大学生がチームを組み、テーマについて質疑応答をしながら理解を深める高大連携プログラムのひとつである。本大会では、「異文化体験」をどのように認識し、成長へと結びつけていったか、3つの高大連携チームから発表があった。



写真：教育連携企画による高校生の発表

一般発表および教育連携企画で4会場に分かれたのち、終了後には再び1会場に集まり、シンポジウム「これからの異文化体験教育のあり方について」が行われた。3人のシンポジストから興味深い異文化体験が語られ、モデレーターの勝又氏の進行により、活発なやり取りが行われた。詳細については、勝又氏の報告をご覧ください。

シンポジウムをもってすべてのプログラムを終了し、最後に小野博理事長の挨拶により閉会となった。

関東支部大会をTGGで開催するという初めての試みであったが、約130名の来場者があり、盛会となった。終了後に行われた情報交換会では約60名が参加し、基調講演、発表、教育連携企画、シンポジウム等に関する率直な意見交換が引き続き行われた。「グローバル・マインドの育成」についての新しい知見や気づきが得られ、大変有意義な時間となった。

お忙しい中ご来場くださった皆様を始め、講演者、発表者、シンポジスト、協賛企業の皆様および大会実行委員、運営に関わってくださったすべての方々に心より感謝申し上げたい。大学教育とTGG運営の両方に携わる立場から、TGGが単に小中高の英語学習施設ではなく、大学向けのグローバル人材の育成にも有益であることをご理解いただけたのではないかと感じている。最後に、グローバル人材育成教育学会とTGGにおけるますますの発展を心からお祈り申し上げる。

受付日 2019年7月13日、受理日 2019年9月14日